

令和4年7月9日

日本選挙学会

理事長 竹中 佳彦

参院選遊説中の安倍元首相殺害を非難する

7月8日、今般の参議院議員通常選挙の遊説で奈良県を訪れていた安倍晋三元首相が狙撃され、亡くなりました。現職議員の元首相が応援演説中に殺害されるというのは文字どおりの蛮行であり、強い憤りの念を表明するとともに、亡くなられた安倍元首相に対して心より哀悼の意を表します。

選挙は、いうまでもなく民主主義の根幹です。選挙運動は、政党や候補者が有権者の前に生身をさらして、言論をもって政治のあり方を論じ、有権者の選択に役立てる機会です。その選挙運動における演説は、自由かつ安全に行われなければなりません。演説を暴力によって封じ込めるなどということは絶対に起こってはならないことです。

容疑者がどのような理由で安倍元首相を狙撃したのか、詳細はわかりません。たとえどのような理由があったとしても、暴力による言論の封殺は断じて許されてはなりません。民主主義の根幹である選挙の研究に従事している者として、今回の蛮行を強く非難します。

以上